

## 第 228 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 15 期, 第 6 回)

日時 : 2018 年 3 月 2 日 (金) 14:00~18:00

場所 : 立命館大阪梅田キャンパス 大阪富国生命ビル 5 階 第 6 教室

<http://www.ritsumei.ac.jp/osakaumedacampus/access/>

出席者 (敬称略) : 林 (会長), 乾口 (副会長), 藤吉 (副会長), 櫻井 (会誌), 本多 (事業・研究推進), 堀尾 (財務・会計), 井田 (規程・選奨), 能島 (広報), 中島 (特任・電子化データベース), 前田 (特任・資料アーカイブス), 金久保 (財務・会計監事), 堀口 (事業監事), 広兼 (総務)

欠席者 (敬称略) : 工藤 (出版・他学会連携), 橋山 (大会デザイン)

### 【審議】

#### 1. 前回議事録の確認 (資料 228-0 : 広兼, ML 審議 1/9 承認)

- ・資料 228-0 に基づき, 前回議事録の内容について説明があった.
- ・議事録の内容に疑義等ある場合は, 一週間後 (3 月 9 日) までに広兼まで連絡することとした.
- ・その後, 意見に基づき修正したうえで HP へ公開することとした.

#### 2. 特別会員について (資料 228-1 : 乾口)

- ・資料 228-1 に基づき, 特別会員の申請について説明があった.
- ・学会の規程で, 特別会員は 60 歳以上で定職にないものとなっているが, 申請者が定職にないものと判断できるかについて議論した.
- ・今回の申請については, 非常勤 (40 時間未満/週) であれば申請可能と返信することとした.
- ・今後, 特別会員に関する内規を検討していくこととした.
- ・名誉会員・特別会員以外の会員についても検討していくこととした.

#### 3. FSS 特別講演について (資料 228-2 : 林)

- ・資料 228-2 に基づき, FSS の特別講演に対する意見について説明があった.
- ・FSS での特別講演のあり方について議論した.
- ・FSS2017 については, 米沢市など地元からの支援もあった.
- ・過去の大会を参考に企画するケースが多く, アカデミックな話と地元の色の濃い話を 1 件ずつバランスよくプログラムに入れるケースが多い.
- ・上記の流れに配慮しながら, 事業委員が FSS のプログラムを確認していくこととした.

#### 4. SOFT-CR について (資料 228-3 : 中島)

- ・資料 228-3 に基づき, SOFT-CR へのコンテンツ登録について説明があった.
- ・理事全員に対してコンテンツ登録の依頼がされた. 同時に登録されたコンテンツを利用にも積極的に取り組んでもらい, ファジィ学問塾との連携企画 (FSS2018 での企画セッション) への参加依頼がなされた.
- ・理事以外からもコンテンツの提供をしてもらえよう検討する必要がある.

- ・コンテンツを利用した論文を FSS2018 の企画セッション（ファジィ学問塾との連携企画）で発表してもらい、活性化を図ることとした。
  - ・アーカイブズで収集したデータも最終的には SOFT-CR でアップする方向で検討している。
  - ・次回 FSS では、SOFT-CR 委員会として賞を出す方向で検討することとした。
5. シニア世代研究会の精算報告について（資料 228-13-1, 2 : 藤吉）
- ・資料 228-13-1 に基づき、シニア世代研究会の期中申請補助金の清算報告があった。
  - ・残金の取り扱いについて議論され、残金は次年度への繰り越しとすることとした。
6. 東レ科学技術賞・研究助成推薦依頼（資料 228-6 : 広兼）
- ・資料 228-6 に基づき、東レ科学技術賞等の贈呈式への出席依頼、および東レ科学技術賞・研究助成の推薦依頼について説明があった。
  - ・東レ科学技術賞等の贈呈式については、櫻井理事が出席することとなった。
  - ・東レ科学技術賞・研究助成の推薦については、推薦要領と推薦書用紙が 6 月頃に送られてきた後、SOFT-ML に流し、会員全員にアナウンスして推薦者を募集することとした。
  - ・推薦締め切り日が 10 月 10 日となっているので、9 月の FSS での理事会で審議できるよう推薦書を集約することとした。
  - ・応募者が多数いる場合は理事会にて選考することとした。
7. IEEE 国際会議の Technical Co-Sponsorship に関する Fee について（資料 228-7 : 本多）
- ・資料 228-7 に基づき、国際会議の TCS に関する費用やメリット・デメリットが報告された。
  - ・SCIS の論文を IEEE Xplore で公開するのであれば、NSA や SSA を締結しておけば割引が得られることが説明された。
  - ・2018 年の SCIS については、IEEE Xplore で公開すべく、準備が進められている。
  - ・しばらく状況をながめつつ、今後も検討を継続していくこととした。
8. SCIS & ISIS の予稿集の J-STAGE 公開状況について（資料 228-5 : 本多, ML 審議）
- ・資料 228-5 に基づき、審議事項 7 に関連して、SCIS&ISIS の予稿集の J-STAGE 公開状況に関する JST からの問い合わせに対する回答について説明があった。
  - ・SCIS&ISIS2010 までは J-STAGE で公開していたが、SCIS&ISIS2012 からは IEEE Xplore で公開しているため、J-STAGE では公開していない旨を回答した。
9. XML 製作費の追加に関して（資料 228-10 : 櫻井）
- ・資料 228-10 に基づき、学会誌の会誌部 Vol.19–Vol.22 の XML 作成費用の金額について説明があった。
  - ・全額を今年度まとめて支払うこととした。

## 10. 学会 HP 改善について（資料 228-14：能島）

- ・資料 228-14 に基づき、学会 HP の改善案について説明があった。
- ・現状の丸型の反転するタイプのバナーの代わりに、四角で反転するタイプのバナーの作成を依頼して HP の改善を図ることとした。
- ・支部や研究部会から提出される事業計画を参考に、支部や研究部会を紹介するページを 1 ページ設けて、そこから支部・研究部会のページにリンクを貼ることとした。
- ・HTTPS への変更も検討することとした。

## 11. 国際誌購読料について（資料 228-15：乾口）

- ・資料 228-15 に基づき、出版社が提示した国際誌の販売価格が誤りであったことが報告された。
- ・International Journal of Approximate Reasoning (IJAR) については、対象者は 2 件であることが報告された。  
⇒学会が負担することとした。
- ・Fuzzy Sets and Systems (FSS) については、対象者は 9 件であることが報告された。  
⇒メールで差額分の処理方法（例えば、返金する、次年度の購読料に補填するなど）を購読者に問い合わせ、希望の処理方法で手続きを進めることとした。  
⇒問い合わせに当たっては、エルゼビアに誤りのあったことへの詫言状を書いてもらい、詫言状も送ることとした。  
⇒メールでの問い合わせの原案を作成して、メール審議することとした。

## 12. その他

- ・FSS2018 について現状を確認し、早急に対応していくこととした。

### 【報告】

#### 1. 理事会だよりについて（資料 228-4-1, 2, 3, 4：乾口）

- ・資料 228-4-1, 2, 3, 4 に基づき、過去の学会誌に掲載された理事会だよりが報告された。
- ・理事会で議論されていることを分かりやすく会員に説明するため、理事会だよりを会誌に掲載していくことを検討することとした。
- ・林会長が原案を作成し、次回理事会にて議論することとした。

#### 2. 2018 年 SOFT-CR 連携・ファジィ学問塾について（資料 228-8：本多）

- ・資料 228-8 に基づき、SOFT-CR と連携してファジィ学問塾を開催することが報告された。
- ・2018 年 3 月では、7 日、8 日に愛知工業大学で開催されるソフトサイエンス・ワークショップ、10 日に大阪大学で開催される SOFT 関西支部、16 日、17 日に首都大学東京で開催されるファジィ・ワークショップで開催することが報告された。
- ・今後も FSS2018 で開催する企画セッション「SOFT-CR 連携ファジィ学問塾セッション」の PR 活動を実施していくことが報告された。
- ・SOFT-CR に登録されたツールを使った研究発表への協力が依頼された。
- ・SOFT-CR の登録を募集するリーフレットも配布することとした。

3. 「Zadeh 先生を偲ぶ会」学会誌開催報告について（資料 228-9：前田）
  - ・資料 228-9 に基づき、「Zadeh 先生を偲ぶ会」開催報告の最終原稿が報告された。
  - ・原稿について確認して、以下のような意見が出された。
    - ⇒FSS の表彰式における黙祷や会長からの経緯の説明などの取り組みも追記することとした。
    - ⇒黙祷の写真を削除して、全員の集合写真を大きくすることとした。
    - ⇒その他、気になる表現の修正も数か所することとした。
  - ・「Zadeh 先生を偲ぶ会」のビデオコンテンツを SOFT-CR で公開することとした。
  - ・当日の写真について選別して SOFT-CR で公開することとした。
  - ・学会誌の開催報告（本原稿）も SOFT-CR で公開することとした。
  
4. Zadeh 先生追悼企画：ソフトコンピューティングへの期待の進捗（資料 228-11：櫻井）
  - ・資料 228-11 に基づき、Zadeh 先生追悼企画（若手・中堅）の進捗状況について報告された。
  - ・現在、No.3 で 5 名、No.4 で 8 名の執筆者が確保できていることが確認された。
  
5. 会誌の今後の企画に関する報告（資料 228-12：櫻井）
  - ・資料 228-12 に基づき、今後の会誌の企画状況が報告された。
  - ・企画の提案があればメールで連絡するよう依頼があった。
  
6. 学会賞（奨励賞の早期決定等）について（資料なし：井田）
  - ・奨励賞 2 名のうち会員ではなかった 1 名が学生会員として入会し、2 名の奨励賞が確定したことが報告された。2 名に対して FSS2018 での表彰式と懇親会への出席を依頼した。
  - ・賞金については、IEEE の young research award に合わせて、社会人 15,000 円、学生 10,000 円とすることが報告された。
  - ・功績賞は資料を作成して次回議論することとした。
  
7. 学会誌電子化（J-STAGE への移行等）について（資料なし：井田）
  - ・すべての学会誌の J-STAGE への移行（各種の修正作業）・公開を終えたことが報告された。
  
8. その他
  - ・次回の理事会は、4 月 22 日（日）、大阪大学中之島センターでの開催を検討する。
  - ・次々回の理事会は、5 月 19 日（土）、立命館大学梅田キャンパスでの開催を検討する。
  - ・その後、6 月 2 日（土）、関西大学梅田キャンパスにて、理事会を 10:00～12:00、総会を 13:00～14:00 で開催することを検討する。

以上